



“たいせつ”がギュッと。

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO., LTD.
〒553-8553
大阪市福島区海老江1丁目1番24号
<https://www.hanshin.co.jp/>

NEWS RELEASE

経営企画室(広報担当)

2019年3月18日

～訪日外国人のお客様にも快適にご利用いただける阪神電車を目指して～ 車内多言語自動放送の導入など、インバウンド施策を進めます

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市福島区、社長:秦雅夫)では、近年増加している訪日外国人のお客様が、駅や列車を快適にご利用いただけるよう、さまざまなインバウンド施策を進めています。その一環として、3月20日(水)から、阪神なんば線を中心に列車内の多言語自動放送を導入します。

なお、当社では、既に11の駅で翻訳専用端末や翻訳アプリ搭載のタブレット端末を活用した旅客案内サービスを実施するとともに、3つの駅で自動外貨両替機を設置しています。

詳細は以下のとおりです。

1. 阪神なんば線を中心に、車内多言語自動放送を導入します

訪日外国人のお客様のご利用の増加が顕著な阪神なんば線を中心に、車内において多言語自動放送を実施します。また、通常時の案内に加え、異常時における案内の一部も多言語化することにより、訪日外国人のお客様へのサービス向上を図ります。

- サービス開始: 2019年3月20日(水) 予定
- 対象車両: 阪神なんば線で運行している1000系、9000系車両、阪神線に乗り入れている近鉄車両
- 放送方法: 車掌がタブレット端末を操作することにより自動放送を行います。
- 対応時間帯: 7時～20時を基本とします。
- 放送言語: 日本語、英語に対応します。(一部、中国語、韓国語にも対応)
- その他: 駅構内でも、異常時における案内の一部を多言語化します。



(タブレット端末を操作している様子)

2. 駅におけるご案内をスムーズにできるよう、翻訳アプリを搭載したタブレット端末や翻訳専用端末を導入しています

訪日外国人のお客様と駅係員とのコミュニケーションツールとして、翻訳アプリを搭載したタブレット端末や翻訳専用端末を計11駅に導入しています。これにより、駅での列車案内や観光案内などのほか、お忘れ物のお問合せや異常時の案内にも幅広く対応できるようになりました。

■導入時期：2018年9月

■導入駅：梅田、尼崎、甲子園、魚崎、御影、神戸三宮、高速神戸、新開地、桜川、九条、西九条（計11駅）

■特徴：音声認識技術による翻訳文をタブレットや端末画面に表示し、更に機械音声で文章を読み上げます。日本語、英語、中国語、韓国語に対応しています。



(翻訳専用端末を使ってお客様の案内を行う駅係員の様子)

3. 阪神電車の駅では初となる自動外貨両替機を設置しました

訪日外国人のお客様のご利用やお乗換えの多い駅3駅に外貨両替機を設置し、利便性の向上を図りました。

■設置駅：梅田、西九条、神戸三宮

■サービス開始：(梅田、西九条) 2018年11月、
(神戸三宮) 2019年2月

■利用可能時間：各駅の始発～終電まで(年中無休) ※神戸三宮駅を除く。

■取扱通貨：(12カ国通貨) USドル、ユーロ、UKポンド、豪ドル、香港ドル、中国人民元、韓国ウォン、新台湾ドル、シンガポールドル、タイバーツ、インドネシアルピア、マレーシアリングギット

■両替機の特徴：10か国語によるモニター表示及び日本語と英語による音声ガイダンス機能があります。



(神戸三宮駅西改札側に設置している外貨両替機)

以上

2019年3月20日(水)

おかげさまで阪神なんば線は

開業して10周年を迎えます。

